The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships
30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534
Tel: 81-3-3888-8256　Fax: 81-3-3888-8242　E-mail: shouhei-au@aots.jp　URL: http://www.aots.jp/

アジア等ゼロエミッション化
人　材　育　成　等　事　業

2026 年 6 月

募集要項

インドネシア生産性向上研修コース
－ 製造現場の省エネ改善で目指す脱炭素化 －

The Program on Productivity Improvement for Indonesia
- Decarbonization through Energy-Saving Improvements in Manufacturing Sites -
[IDPI]

2026 年 11 月 18 日～12 月 1 日

１．コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修及び専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2024 年度（令和 6 年度）までに世界 198 の国と地域から延べ 200,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 240,000 人余りが参加しています。

「インドネシア生産性向上研修コース- 製造現場の省エネ改善で目指す脱炭素化 -（IDPI)」は、一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）が、経済産業省の「アジア等ゼロエミッション化人材育成等事業」の制度に基づいて実施する管理研修コースの一つです。本事業はアジアの国・地域等（中東含む）の外国人材を対象に、①日本企業が有する省エネ技術の海外移転を通じて本事業対象国の産業分野でのエネルギー利用の効率化・CO2 排出削減をすすめるとともに、②カーボンニュートラル実現に必要な先進的技術の普及のためのイベント等を通じて社会実装に向けた現地人材育成・二国間協力強化などの環境整備に取り組むことにより、アジア新興国等と共にカーボンニュートラルを実現していくことを目的としています。

本コースでは、インドネシアを対象とし、製造業における生産プロセスの省エネ化のための三つのアプローチ(設備改善、生産性改善、管理･運用改善)と具体的な手法を学ぶことで、帰国後に自社の生産プロセスを改善し省エネ化・CO2 削減を推進し、脱炭素経営に資する能力向上を図ることを目的としています。

２．対象国：

インドネシア

３．参加者の人数：

15 名

４．参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

(1) 原則として、インドネシアの製造業において、省エネルギー・脱炭素化を推進する立場にある経営幹部、工場長、生産現場管理者、専門家(工程管理やエネルギー管理などを担当するエンジニア等)。研修内容を製造業に指導する立場にある団体の職員も対象とする。
(2) 原則として、年齢は 20 歳以上の方
(3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
(4) インドネシア語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
(5) 心身健康な方
(6) インドネシアに居住の方
(7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
(8) 過去に AOTS が実施する国庫補助事業の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。

＊ 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。(日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。)

注意：

(1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。

(2) 日本へ家族や会社の同僚・部下等を同伴することはできません。
(3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
(4) 日本以外の先進国資本が入った企業からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
(5) 本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
(6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

５．応募方法：

海外の現地法人から下記のとおり AOTS 海外協力機関を通してお申し込みください。日本企業からの申込はできません。

以下の応募書類一式を PDF・エクセル両方の形式で、**2026 年 9 月 14 日（月）**までに AOTS 海外協力第 1 グループに到着するよう提出してください。
応募書類の提出期限は、各機関によって異なりますので、AOTS 海外協力第 1 グループ（１２．お問合せご参照）にお問合せください。
お申込者には AOTS 海外協力機関による面接をさせていただきます。

(1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
※PDF・エクセル両方のソフトコピーを提出
(2) 日本企業との取引および日本市場への参入に関する調査票　※エクセル
(3) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）　※PDF
(4) 研修生個人情報の取り扱いについて（AOTS 所定様式）　※PDF
(5) 海外旅行保険承諾書　（AOTS 所定様式）　※PDF
(6) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用）　※PDF
(7) 勤務先概要を紹介する資料　※PDF
(8) 顔写真データ（データタイトルに氏名を入力してください）　※JPEG または PDF
(9) パスポートコピー　※PDF
※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、アルファベットで氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。
(10) 事前研修レポート　※エクセル

注意：
※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。
※AOTS 所定様式や AOTS 海外協力機関の連絡先については AOTS 海外協力第 1 グループ（１２．お問合せご参照）にお問合せください。

提出された応募書類は、**2026 年 10 月 8 日（木）**の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より AOTS 海外協力機関を通して連絡いたします。

注：応募者が締切日時点で 15 名に満たない場合、本コースを中止または延期する場合があります。

６．研修コースの概要：

■ 目的
本コースは、製造業における生産プロセスの省エネ化のための三つのアプローチ(設備改善、生産性改善、管理･運用改善)と具体的な手法を学ぶことで、帰国後に自社の生産プロセスを改善し省エネ化・CO2 削減を推進し、脱炭素経営に資する能力向上を目的とする研修コースです。

■ 期待される効果

(1) 脱炭素化において製造業が果たすべき役割と責任を理解するとともに、日本の製造業が強みとする高効率な生産システムの構築が、製造時のエネルギー使用量の削減につながることを学べます。
(2) 省エネルギー化に向けた三つのアプローチに加え、廃棄物削減、エネルギー使用量の見える化、再生可能エネルギーの導入など、生産プロセスにおける具体的な省エネ手法について理解を深めることができます。
(3) 省エネルギーの推進およびその先の脱炭素化に向けたステップを踏まえ、自社の生産現場においてどのように取り組むべきかを整理し、具体的な省エネルギー推進のための行動計画を策定することができます。

■ 期間

2026年11月18日（水）～12月1日（火）（14日間）

■ 内容

【自社の現状データの把握】
事前レポートに記入した自社の現状、問題、現在の電力消費量と削減目標数値等の根拠となるデータを来日に向けて準備し、持参します。

【脱炭素化における製造業が果たすべき役割と責任及び日本の製造業での取組みの理解】
脱炭素化が求められる背景を概観し、製造業が果たすべき役割と責任について意識を高めるとともに、日本の製造業がどのような取組を行っているのかを学びます。日本企業が得意とする高効率生産システムの構築がムリ・ムラ・ムダを排除し、製造エネルギーの低減へとつながることを理解します。

【生産プロセスでの省エネ化の手法の理解】
生産プロセスの省エネ化のための三つのアプローチ：①設備改善、②生産性改善、③運用改善について学ぶ。特に②に重点を置き、5S や目で見る管理など生産性向上に必須な手法、実用的な生産管理手法を学ぶ。また、ものづくりの現場における省エネ手法、さらに廃棄物の削減、使用エネルギーの見える化、再生可能エネルギーの導入等の省エネの次のステップについても講義・演習を通じて学びます。また企業見学を通して、実際にこれらの管理手法がどのように現場で実践されているかについて理解を深めます。

【自社での省エネルギー化推進のための行動計画の策定】
本研修で学んだことを活かし、上記三つのアプローチで省エネ及びその後の脱炭素に向けたステップに向けて具体的にどのように取組んでいくのか、目標値を見直した上で自社の生産現場における省エネルギー化推進のための行動計画を策定して最終日に発表します。

コースは通常午前 3 時間、午後 3 時間の講義からなり、夕方にはグループ討論が行われます。
日程表（予定）をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習はインドネシア語あるいはインドネシア語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材はインドネシア語で作成されます。

■ 研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 関西研修センター(KKC) http://www.aots.jp/jp/center/about/kkc.html
〒558-0021　大阪府大阪市住吉区浅香 1 丁目 7-5
電話：06-6608-8260（受付）　ファックス：06-6690-2678

インドネシア生産性向上研修コース
- 製造現場の省エネ改善で目指す脱炭素化 -
[IDPI]
日程案

2026年11月18日～12月1日　　AOTS関西研修センター（予定）

月／日	午　前	午　後	
11月17日（火）	来　日		
18日（水）	オリエンテーション／ 開講式	【講義】脱炭素化社会　概論	
19日（木）	【講義】カーボンニュートラルに向けた日本企業の取り組み	【見学】日本企業の環境経営事例	
20日（金）	【講義】5Sと改善	【見学】5Sと改善事例	
21日（土）	休　日		
22日（日）	休　日		
23日（月）	【講義・演習】ムダの排除と現場カイゼンによる生産性向上①		
24日（火）	【講義・演習】ムダの排除と現場カイゼンによる生産性向上②	【見学】現場改善事例	
25日（水）	【講義・演習】製造現場の省エネルギー活動①		
26日（木）	【講義・演習】製造現場の省エネルギー活動②	【見学】製造現場の省エネルギー活動事例①	
27日（金）	【見学】製造現場の省エネルギー活動事例②	【見学】再生可能エネルギー導入事例	
28日（土）	休　日		
29日（日）	休　日		
30日（月）	アクションプラン発表（個別）	【見学】高効率機器導入事例	
12月1日（火）	アクションプラン発表（全体）		修了式
2日（水）	帰　国		

注意：

(1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
(2) 夕食後グループ討論を行うことがあります。
(3) 土曜、日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

7．到着日及び出発日について：

参加者は、原則として研修開始日前日に日本に到着し、研修終了日翌日に日本を出発することとします。

8．経費：

下記試算例をご参照ください。

【試算例】
コース開始前日来日・終了日翌日帰国　2週間（14日）コース
出発地インドネシア、関西空港・関西研修センター間移動の場合

（日本円）

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費			
〈受入費内訳〉	〈内訳〉		
(1) 渡航費	150,000	[B]	
(2) 宿舎費・食費			
a. [AOTS研修センター]			
@ 11,200 x 1 日 (到着日) =	11,200		
@ 12,200 x 14 日 =	170,800		
[研修旅行中]			
b. 食費			
@ 3,200 x 0 日 =	0		
c. 宿舎費			
@ 14,500 x 0 日 =	0		
(3) 雑費			
@ 1,000 x 15 日 =	15,000		
(4)厚生費			
海外旅行保険	1,560		
		[1/2]	[1/2]
(1)～(4) 計	348,560	174,280	174,280
2. 研修実施費			
〈研修実施費内訳〉	〈内訳〉		
(1) 直接研修実施費	180,000	90,000	90,000
(2) 人件費、その他経費	375,000	234,000	141,000
(1)～(2) 計	555,000	324,000	231,000
3. 国内移動費			
(関西空港 - KKC)	1,760	1,760	
合計	905,320	500,040	**405,280** ← [A]

ここに記載されている海外出張費の金額はあくまで目安です。ご自身で購入予定の航空券代を入力し、ご自身で計算してください。また、ページ下部の「3. 注意事項」もご参照ください。

灰色で表示された欄はAOTSが参加者に現物支給する金額です。

黄色の欄は研修期間中にAOTSが研修生に現金で支払う金額です。

2. 精算方法と内訳

日本到着後、参加者とAOTSは、下記の通り[C]＝[A]－[B]の精算を行います。
差額[C]がマイナス(-)の場合、AOTSから参加者に対してその金額が支払われることを意味します。

	項目	金額（日本円）	備考
[A]	分担金 （分担金は、1. 受入費および2. 研修実施費から補助額を差し引いた額で構成されます）	**405,280**	これは参加者が負担すべき金額であり、その額は渡航費の金額や参加者の滞在日数などによって異なります。
[B]	研修期間中にAOTSから参加者へ払い戻される海外渡航費	**150,000**	左記の渡航費の金額はあくまで参考です。
[C]	来日後の支払額: [C] = [A] - [B]	**255,280**	-

（日本円）

	研修期間中にAOTSから参加者に現金で支払われる金額	**16,760**	表の黄色い欄の合計額 （分担金と精算される渡航費を除く）

*参加者がAOTSが手配したバスでAOTS研修センターへ移動する場合、交通費は現金ではなく現物支給となります。

3. 注意事項

航空券は参加者自身が購入してください。AOTSは規定に基づき、その金額を補助します。
航空券およびその領収書が所定の条件を満たしている場合に限り、渡航費補助が支給されます。条件を満たさない場合や、無料の航空券については支給されません。
渡航費補助金が支給されない場合、上図1.-(1)の金額はゼロとなるため、「受入費」および「研修費用」はそれに応じて変更されます。

※研修コース参加後に実地研修はできません。

詳細については**英語版募集要項(The Program Outline)**をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。
https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/

９．査証（ＶＩＳＡ）の取得について：

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって自身で在外日本国大使館/総領事館（以下「在外公館」とする）にて「研修」査証の申請、取得をしてください。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合があるため時間に余裕をもって申請することを強くお薦めします。

(3)注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「ＡＰＥＣ・ビジネス・トラベルカード（ＡＢＴＣ）」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致していることを事前に、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

１０．海外旅行保険の付保について

AOTS は、参加者に対し日本に到着した時から、日本を出発するまでの期間を補償対象とした海外旅行保険を付保します。付保内容は傷病により医療機関で診療を受ける際の医療費と賠償責任・救援者費用で構成されています。別紙を参照の上、研修申込時に海外旅行保険付保に対する同意の意思確認のためサイン済みの同意書を提出してください。

１１．個人情報の取扱いについて：

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

(1) 個人情報の管理者：　一般財団法人海外産業人材育成協会　総務企画部長

連絡先：　総務企画部　総務・人事グループ

電話: 03－3888－8211　E-mail: kojinjoho-cj@aots.jp

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、参加者受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。

それ以外の利用目的または法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html をご覧ください。

１２．お問い合わせ：

海外統括部　海外協力第１グループ

住所　〒120-8534　東京都足立区千住東１丁目 30-1

電話：03-3888-8256　　Fax: 03-3888-8242　　E-mail：shouhei-au@aots.jp

PRE-TRAINING REPORT

The Program on Productivity Improvement for Indonesia
- Decarbonization through Energy-Saving Improvements in Manufacturing Sites -
[IDPI]

Please complete the following items in English using a computer or similar device, **within 100 words per item**, in **the specified Excel format**.
This document will be used as a reference material in 1) the screening process of applicants and 2) the group discussion and the presentation to be held during the program by sharing with lecturers and other participants. Therefore, the **applicant is requested to fill in all of the items clearly and concretely.**
Please submit the pre-training report in the specified Excel format, not in PDF, Word format, etc.
The Excel format is available from the Overseas Collaborating Organization or the below URL.
https://www.aots.jp/en/what-we-do/hrd/management/subsidized/list-of-courses/
***AOTS will not use this information for any other purposes other than an AOTS training program.**

1. Your name	
2. Your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your organization (Business outline, product lines/service, and size of business of your company) * Preferably attach an organization brochure	
5. Your position and department (preferably attach an organizational chart, indicating your position)	
6. Your duties in detail	

7. Factors obstructing productivity enhancement and energy conservation in your company				
8. Possible measures to solve such problems together with limitation factors				
9 Your expectations of the program in relation to the described problems				
10. What are the current values, and the target values that need to be achieved after returning home, as to your choice of either A or B (right)? **No need to fill in both A and B.** NOTE: If your department/ organization is INDIRECTLY involved in manufacturing, write about the whole of the factory involved. The target values should be practical.	<Choose A or B>	<Current Values>		<Target Values>
	A: Yearly power consumption of the whole of your factory	_____ (kWh/year)	=>	_____ (kWh/year)
	B: Yearly power consumption of a process at your manufacturing department (or factory)	_____ (kWh/year)	=>	_____ (kWh/year)
	NOTE: If you choose B, write about the process you referred to, in the right column.			